

第 4 章

開 講 科 目

【目 次】

1. 開講科目
 - (1) テキスト科目、オンデマンド科目
 - (2) スクーリング科目
 - (3) 資格科目
2. 2010年度開講科目一覧
3. 2010年度科目修了試験日程
4. 2010年度スクーリング科目開講日程
5. 2010年度学年暦

1. 開講科目

以下の開講科目の内容については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
また、各科目の詳細については本学ホームページ <http://www.nfu.ne.jp/> においてご覧になれます。

凡 例

- 社** 社会福祉士国家試験受験資格指定科目
- 精** 精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目
- A** AFP 資格試験受験資格指定科目
- 必** 必修科目（オンデマンド科目、スクーリング科目いずれかを履修）

(1) テキスト科目、オンデマンド科目

【基礎科目】

科 目 名	福祉経営序論（オンデマンド版） 必	単 位 数	1 単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	雨森孝悦		
通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを明らかにし、福祉経営を学ぶうえでの課題や方法について論ずる。講義を通じ、福祉経営学習の全体的見取図を与え、知識の追求、問題解決の探求等々に向けての学習意欲を喚起する。					
科 目 名	スタートアップセッション(オンデマンド版) 必	単 位 数	1 単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	元岡征志、大野喜朗、菱沼和香奈		
通信教育部における学習のスタートとして、開講されている科目形態に応じた学習方法を理解する。また単位修得までの一連の流れとして、テキストの読み方、添削課題、科目修了試験への取り組み方について講義する。さらに、通信教育部を卒業・修了するまでを念頭においた学習計画を立てる。なお、本科目は必修科目であるとともに、学習方法や学習計画に関する内容のため他の科目の学習に先立って受講することが望ましい。 ※正科生・特修生のみ履修可能					
科 目 名	経営学	単 位 数	4 単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	柳在相		
企業経営の基礎を理解するには、組織マネジメントという視点にたって、経営目標の達成に向けた効率的なマネジメントのプロセスをおさえるとともに、変貌する経営環境に適応していくプロセスにも留意することである。企業と環境、組織の構造と過程、組織の変革といった企業経営の中心課題をみたらうえて、医療・福祉、環境ビジネスなどといった分野のマネジメントの問題を認識していく枠組みを学ぶ。さらに、21世紀の産業経営の将来ビジョンとして示されている社会貢献型経営についても検討し、企業経営のあり方についても考察する。					
科 目 名	経済学	単 位 数	4 単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	上田和宏、谷地宣亮、鈴木健司、渡邊敏生		
一般の営利企業のみならず医療・福祉施設の行動を理解するには、希少な資源の効率的配分を研究対象とする経済学の知識が不可欠である。また地域開発にとっても経済学が有用な情報を与えることはいままでのない。本講では、経済理論を理論としてだけ学ぶのではなく、企業ならびに家計の行動についての具体的なケース分析を通して、経済学の基本的な考え方を習得する。また、社会人学生のもつ実践的な要求にも応えることを考慮し、医療・福祉施設といった非営利組織についても詳しくとりあげる。					
科 目 名	簿記	単 位 数	2 単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	新谷司		
簿記とは、企業の経営活動を計数的に記録し、それを集計して企業の経営成績や財政状態を知るための計算処理記述である。最初に、簿記の基本的仕組みを理解する。次いで、商品売買業を営む個人商店における諸取引の仕訳と一連の決算手続きについて習得する。仕訳例や設例を利用して簿記知識の効率的習得を目指す。					

必：必修科目です。オンデマンド科目、スクーリング科目のいずれかを履修してください。

科目名	民法	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	近藤充代		
民法は、市民間の財産関係、取引関係、身分関係を規律している法律であるが、本講では市民生活にとって身近である消費者問題を題材に、現代社会における民法の役割の理解と法的な思考方法の修得をめざしたい。具体的には、消費者被害の救済という観点から、民法総則（行為能力制度、意思表示等）、契約法の基礎（契約の成立、効力、解除等）を学習し、さらには訪問販売法、割賦販売法などの民法特別法についても理解を深めたい。					
科目名	日本史	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	福岡猛志、曲田浩和		
これまで中学校・高等学校の教科書などで学んできた、わたしたちの日本史像は、最近大きく書き換えられようとしている。飛躍的に増大した発掘調査を背景とした考古学の発展、主として近世・近代の地域史研究の中で確認された新たな史料（古文書）に基づく新しい問題提起、これまでとは異なる視点での既存史料の読み直しなどが進んでいるからである。この新しい到達点を踏まえた日本史像を、受講生諸君とともに追及してみたい。通史的叙述を柱としつつ、視点・論点についての解説を加えたテキスト（参考文献の紹介を含む）を主要教材とするが、それを補強する多様な教材を用意する。					
科目名	生物学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	水野暁子		
生物の基本構造である細胞膜を中心として、生物らしい構造と機能について理解する。特に、人間とは違った構造を持つ植物について、成長、水や養分の吸収、情報伝達などの生理的機能と、細胞や組織の構造との関わりについて詳しく学習する。植物がどのような構造と機能を基にして、環境に対する適応や反応を行っているかを認識することで、酸性雨などの環境問題について考えることができるような、基礎的な力をつける。					
科目名	福祉社会入門	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	足立浩		
「福祉」という言葉は「しあわせ」を意味する。その英文であるウェルフェアは、「よりよく生きる」という意味である。福祉社会は、「いのち」「くらし」「いきがい」を大切に、人がゆたかに生きていくことを支える社会である。福祉社会を実現するためには、社会福祉をはじめとして、さまざまな分野の研究や実践が力を合わせる必要がある。これを日本福祉大学では「人間福祉複合」と呼んでいる。「福祉社会入門」では、「人間福祉複合」の観点から「福祉」への接近について学ぶ。					
科目名	実践英会話	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	烏山逸雄		
看護師の洋子さんがハワイの病院の視察を行うというストーリーで基本的な英会話を学ぶが、英会話だけではなく、英語を使う場面での基本情報、異文化についても学ぶ。アポイントの取り方、パスポートの取得や、英文電子メールなどの学習も行いPCの特性を生かし、単語の反復練習を行う。英語レベルは英語Ⅰを想定。単語数は1500語レベル。					
科目名	英語プレゼンテーション	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	烏山逸雄		
学習者に関連の深い事柄を簡単平易な英語表現で説明できるようにする。特に福祉、看護に関する事柄を英語で語れるようにする。日本の施設に海外からの訪問者があったとき、最低限の情報を与えることができると同時に、福祉に関する基本情報を語れるようにする。単語英語レベルは2000語レベルを適用。英検準2級レベル。					
科目名	インターネット演習Ⅰ	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	佐藤慎一		
パソコンやインターネットなどについての基本的な内容を学習する。具体的には、ワープロ、表計算ソフトの基本的な活用その他、画像の取り扱い、ネットワークを用いたコミュニケーションなどを取り上げる。基本的な事項を確実におさえることにより、道具として適切に、安心して、自分なりのスタイルで有効に活用していくことができるようになることを目指す。					
科目名	インターネット演習Ⅱ	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	烏山逸雄		
情報を正確に、スマートに相手に伝える。これがこの科目のテーマである。日本人は思いこみが強く、情報伝達が下手だといわれるが、方法さえわかれば効果的な情報伝達が可能である。話す組立を考え、効果的な図やグラフを使い、さらには伝達力ある話し方のポイントを学ぶ。職場や学校での魅力あるプレゼンテーションは今後ますます重要になってくる。これを機会にその手法を是非、身につけてほしい。					

科目名	社会福祉学	社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	木戸利秋		
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 ・福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 ・福祉政策におけるニーズと資源について理解する。・福祉政策の課題について理解する。 ・福祉政策の構成要素（福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む。）について理解する。 ・福祉政策と関連政策（教育政策、住宅政策、労働政策を含む。）の関係について理解する。 ・相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。 						
科目名	社会学	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	山口宏		
<ul style="list-style-type: none"> ・社会理論による現代社会の捉え方を理解する。 ・生活について理解する。 ・人と社会の関係について理解する。 ・社会問題について理解する。 						
科目名	心理学	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	中村信次		
<ul style="list-style-type: none"> ・心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する。 ・人の成長・発達と心理との関係について理解する。 ・日常生活と心の健康との関係について理解する。 ・心理的支援の方法と実際について理解する。 						
科目名	医学概論	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	日月裕		
<ul style="list-style-type: none"> ・心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ・国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要について理解する。 ・リハビリテーションの概要について理解する。 						
科目名	社会福祉調査論	社	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	（調整中）		
<ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の意義と目的及び方法の概要について理解する。 ・統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護について理解する。 ・量的調査の方法及び質的調査の方法について理解する。 						

【専門科目：ビジネスマネジメント分野】

科目名	マーケティング	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	小木紀親		
<p>マーケティングとは、企業による創造的かつ独占的な市場獲得戦略である。講義では、そうした企業の様々なマーケティング戦略や市場における多様なマーケティングの現象を、とりわけ、製品戦略、価格戦略、プロモーション戦略、流通チャネル戦略などの絡みで論じていく。また、基本的なスタンスとしては、現代市場の現実的側面にスポットを当てつつ、生活者の視点からマーケティング現象をとらえることを意識したい。</p>					
科目名	財務会計	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	新谷司		
<p>財務会計とは、会計基準や会計慣行に規制され、企業の財政状態や経営成績に関する情報を作成し外部の利害関係者に報告することを意味する。「会计学」の発展科目として位置づけられる本講「財務会計」では、日本の会計制度に基づいて、会計規制の体系、財務諸表の様式とその意義、固定資産会計、繰延資産会計、引当金会計、費用・収益の認識基準、財務諸表の監査、連結財務諸表、ディスクロージャーの拡大化などを取り上げる。</p>					
科目名	管理会計	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	内野一樹		
<p>管理会計とは、通常、企業の内部で利用される会計で、主に戦略・計画と統制、または意思決定と業績管理に役立つ会計であると説明できる。戦略・計画または意思決定に役立つ会計とは、戦略や計画の意思決定に必要な情報を、経営者または管理者に提供する会計である。一方統制または業績管理に役立つ管理会計とは、管理者の行動に影響を与えるための目標設定や実績評価に役立つ情報を経営者または管理者に提供する会計である。こうした管理会計は、企業（営利組織）はもちろん、病院や福祉施設等の非営利組織でも利用されている。</p>					

科目名	企業ファイナンス	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	津森信也		
<p>企業ファイナンスは企業経営のみならずすべての企業人にとり必須の知識であることは欧米においては常識であるが、日本でもようやく認識されるに至っている。また、その基本は営利経営のみならず非営利経営においても特に変わるものではない。</p> <p>組織の運営には資金が不可欠であり、資金が不足すれば最終的には組織は成立し得ない。</p> <p>資金不足は経営の問題でもあるから企業ファイナンスは企業経営と多くの点において共通する。</p> <p>そこで、企業活動における資金という観点から基本を理解し、次第に現代ファイナンス理論の実務面への応用を中心に進めることになる。理論に偏ることはない。</p> <p>内容的には、資金の調達運用の実務知識、企業のリスク管理、キャッシュフローとその割引現在価値、デリバティブ等を理解し、価値創造経営と企業分析手法を中心に応用編を学ぶ。</p>					
科目名	産業心理学	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	竹下隆		
<p>激しく変わる現代社会の様相は一つの時代の終わりを示している。産業革命以来の企業社会成立の基本が限界に来ているからだ。エネルギーと地球の限界である。産業心理学は、この限界にかかわる産業構造の理解と人間行動の分析、そして新しい未来社会設計条件の人間の役割を検証する学問である。情報化社会を始め高齢化社会、異文化共生、女性の就業意欲、地球環境保全など未来図対応の多くの課題を、企業組織と人間の関係で捉える必要性はますます現代企業社会に迫っている。地球の限界を配慮した本当の福祉社会未来図設計と一人一人のライフスタイルの展望をトピカルに捉え、人は何のために生き、何のために働くかの一角を追求しよう。</p>					
科目名	経営組織と戦略	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	張淑梅		
<p>本テキストは、組織とは何か、優れた組織の動き方、特徴を、組織論と経営戦略論の視点から学ぶことを目的とする。まず現代社会の基礎的構成要素としての組織の行動や構造、変化のメカニズムを説明する。次に組織を環境との相互作用をもつオープンシステムと認識し、激動する環境の変化に対応するための経営戦略、組織変革、さらに情報革命のもとで展開されつつある新しい組織と戦略について実例を交えて論じていく。</p>					
科目名	ベンチャー経営	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	柳在相		
<p>まずは日本におけるベンチャー企業を取り巻く経営環境に着目し、とりわけアメリカとの比較を通して、いかにしてより多くのニュービジネスを生み出すかについての議論を展開する。そして、セコムやヤマト運輸などのような目覚ましい成長をおさめているベンチャー企業に焦点をあて、その創業から今までの成長プロセスを詳細に考察していく。これらのベンチャー企業の成長プロセスにはどのような阻害要因が存在し、それぞれの阻害要因をいかにして克服することができたかに注目することによって、ベンチャー企業の経営（企業家精神及び戦略的発想、事業仕組の構築、組織デザインなど）についての理解を深めていきたい。</p>					
科目名	環境ビジネス	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	向井征二		
<p>21世紀は環境の世紀といわれるが、営利・非営利を問わず、いかなる事業体にとっても環境は、それを抜きにしては経営戦略が成り立たない程度の最も重要なキーワードになっている。利害関係者への経営情報開示とコミュニケーション、環境配慮型製品設計、グリーン調達、環境汚染防止への企業の社会的責任など、環境を軸に事業展開する場合に求められる諸要素を、ISO規格など環境関連の国際的規範を交えて検討するとともに、内外の環境ビジネスの事例を研究する。</p>					
科目名	人的資源管理	単位数	4単位	科目形態	テキスト・オンデマンド併修科目
		担当教員	関口和雄		
<p>企業経営にあっては、人づくりを経営の基本に位置づけ、人的資源のパワーアップと有効活用をはかることを重点施策として取り組んできた。病院や福祉分野のヒューマン・サービス組織においても、人的資源のマネジメントが最も重要な問題だという認識となっている。人的資源管理システムの枠組みを学んだうえで、働くことの意味仕事への動機づけ仕事へのコミットメントといった中心にある問題を考察し、さらに上司や同僚との対人関係をふくめた職場マネジメントについても学んでいく。</p>					
科目名	医療福祉ビジネス	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	後藤芳一		
<p>社会構造や消費者意識の変化が進み、医療・福祉事業をめぐるニーズは、かつてない速さで変化している。国も、財政制約の下でサービスの質を維持するよう模索している。これを受け、制度の改革が急速に進んでいる。一方、従来の医療・福祉事業は、公的制度のもとで収入が保障され、外的環境に受け身で対応する傾向があった。今後は、固有の環境を踏まえた経営のあり方が事業の存続を決める。それには、サービス提供者として受け手から支持されるよう、経営を組み立てる必要がある。本講は、医療・福祉サービスの専門家が、自ら状況を判断して進路を構築できるよう、経営の基本的な枠組を整理する。</p>					

【専門科目：コミュニティマネジメント・国際協力分野】

科目名	NPO 論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	雨森孝悦		
従来、政府機関や企業の陰に隠れ、マイナーな存在でしかなかった民間非営利組織の独自の性格と社会的役割について考える。中心的な問題関心は、なぜ民間非営利組織が必要なのかということであり、高度成長期以後の日本の社会運営のあり方、とくに公益性の判断や担い手という点に着目する。公益法人等の他、NPO といわれる特定非営利活動法人や一般の市民団体について、企業や行政との関係、国際比較等の視点から考察する。					
科目名	コミュニティマネジメント	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	生江明		
この科目では、内外の様々なコミュニティマネジメントの事例を通して、コミュニティとは何であるのか、そしてそのマネジメントとはいかにあるべきなのかを考察する。社会的存在である人間たちが、そのより良き人生の実現のために自然と社会資源をいかに組織化し、豊饒化していくかというプロセスは、行政サービスの客体としての人間ではなく、コミュニティのマネジメント主体としての人間たちをこれらの事例の中に、そしてその社会哲学の中に見出すことになるだろう。					
科目名	地域環境計画	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	阿蘇裕矢		
人間の生活と環境について考察し、その調和を図っていくためのマネジメント方針について論ずる。特に、コミュニティレベルから、都市・農山村、地域空間レベルにおける環境問題に着目し、主としてこれまでに行われてきた環境計画の方法を学ぶとともに、人間にとって求められる環境のあり方について歴史的な考察を行う。さらに、空間のレベルや環境の特性に合わせた環境計画の手法、施策、政策等について論じ、これからの環境計画のめざすべき方向、主体間の連携や合意形成等のあり方について考察する。					
科目名	国際開発	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	雨森孝悦、穂坂光彦		
この科目では、発展途上国の開発と開発協力について学習する。始めに「開発とは何か」「これまでどのような開発戦略がとられてきたか」という基本的な問いから入り、貧困、環境、ジェンダー、住民参加などの重要な視点から開発について学習する。次いで経済開発や社会開発の諸分野を個別に学び、さらに開発に関わる国際協力について学んだ後、グローバル化が進化する中での国際開発の将来方向について考える。					
科目名	環境と開発	単位数	4単位	科目形態	テキスト・オンデマンド併修科目
		担当教員	斎藤千宏		
1990年代は、国際社会で持続可能な発展（sustainable development）が唱導された10年間であった。本科目では、地球温暖化防止、生物多様性の保全という21世紀において決定的に重要になる二つの課題に対して、各国政府や国連、多国籍企業、地方自治体、NGO・NPOがどのような取り組みをしているのか、具体的な事例を通して考察を進める。また途上国民衆の視点から、持続可能な発展に向けての市場メカニズムの活用が、どのように効果的に機能するか（しないのか）についての分析を加える。					
科目名	国際福祉開発	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	斎藤千宏		
人々の福祉が高まるためには、政府行政、市場制度、地域社会の住民力、NGO/NPOなどの市民力が効果的に影響しあうことが必要であるとの視点に立ち、途上国において女性、教育、保健医療、障害者などの分野でどのような試みがなされているのかを、多くのゲストによる講義を通して学ぶ。					
科目名	福祉社会開発の支援ワーク	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	穂坂光彦、吉村輝彦		
「福祉社会開発支援ワーカー」は、地域社会に働きかけ、新たな福祉プログラムが開発される方向へ地域社会の関係変容を促す「コミュニティ変化の触媒役 change agents」である。専門職として確立されずに多様な立場の人々に実質的に担われているとはいえ、この役割を果たすには、やはり固有のスキルが必要である。しかしその方法論が確立しているとはいえない。この科目では、既存のソーシャルワークの到達点と限界を踏まえ、新たな方向性へのキーワードを広義の「まちづくり」ととらえる。そして現場の生きた素材を基に、さまざまな既存の専門職がどのような発想とスキルによって「地域」にアプローチしたかを、受講者に考えさせる。いくつかのロールモデルに関する議論を通じて、受講者自身の主体形成を促すのが目的である。					

【専門科目：医療・福祉マネジメント分野】

科目名	福祉社会システム論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	訓覇法子		
講義の目的とレベルは二つである。1) 世界先進国における社会政策の国別による分類（モデル）を軸にして、国際比較研究的視点から日本の福祉社会システムを社会的に考察するとともに、方法的に分析する。2) 高齢者人口の増加により、世界の先進国が高齢者社会に直面する現在、福祉国家・社会システム分析において介護国家・介護社会というあらたな概念が必要とされる。したがって、介護社会としての日本の社会システムの現状分析を課題として、国際比較研究的視点から有意義と思われる概念や理論の考察を行う。					
科目名	医療政策論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	李忻		
わが国の医療制度は高齢社会を迎えて、大きな転換期にある。「いつでも、どこでも、誰でもが安心して医療をうけられる」という目標の実現が、高齢化と低成長経済の下で困難となっているからである。医療サービス自体もかつての感染症時代から成人病・生活習慣病へと推移する中で、公平と効率の観点から医療制度に関わる「人」「物」「金」のすべてにおいて、その改革が迫られている。臓器移植に象徴される高度先進医療への大きな期待とともに、高齢者の長期ケアのための医療と福祉を接合した介護保険制度の創設など、患者の自己決定やQOL（生活の質）の向上などの新しい動きをふまえて、医療政策のあり方は国民の健康の維持と増進に大きく影響している。本講義では、戦後の医療政策の展開と今後の課題・方向について学んでいく。					

科目名	医療経済学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	大内講一			
<p>少子・高齢社会の日本は、保健医療システムの転換期にある。医療政策の観点からすると、医療保険財政が厳しさをくわえるなかで「効率」かつ「公正」な医療供給システムを、どのようにして構築していくかが問われている。また、医療の従事者や経営者の視点でみるならば、医療保険システムの変革期は新たなビジネス・チャンスをつかむ好機でもある。本講では、希少資源の効率的な配分を重視する経済学の視点から、医療施設の供給行動、家計の医療需要行動、および保険者の役割について解説・評価する。また、「効率」かつ「公正」な医療サービス供給を実現するのに必要な政策について論じる。</p>						
科目名	医療福祉経営論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	中島明彦			
<p>医療福祉施設の経営は企業の経営理論をそのまま当てはめようとしても困難である。その理由は医療福祉サービスの持つ専門性や公共性という特性、サービスを提供する専門職の自律性、組織が専門職組織であること、事業が制度や政策に大きく依存することなどがあげられる。本講ではこれらを踏まえて医療福祉経営の基本的視座を提供しようとする。</p>						
科目名	医療・福祉サービス論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	近藤克則			
<p>本講義では、医療福祉サービスのあり方やその質を高める方法、それらを考える上で必要な基礎知識を学ぶ。健康に関連するQOL（quality of life、生活・人生の質）や、国際生活機能分類（ICF）、ケアマネジメント、チームマネジメント、福祉事業者、政策レベルまで取り上げる。これらすべてにおいてマネジメントの考え方が有用であること、一方で医療福祉における特殊性を学ぶ。</p>						
科目名	非営利マーケティング論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	井上崇通			
<p>非営利マーケティングとは、主として非営利組織に一般企業のマーケティングの戦略および手法の視点を取り入れ、各非営利組織独自のマネジメント活動に役立てることを意図するものである。しかし、非営利組織は一般企業とは当然異なるものであり、非営利組織のなかでもその特性などによりマーケティングの戦略および手法の取り扱いは異なる。特に、講義では、そうした点に鑑み、各非営利組織の分類から始め、各々に適するマーケティングの戦略および手法、非営利組織を巡る動向を論じていく。</p>						
科目名	非営利組織会計	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	新谷司			
<p>現代社会では営利企業とは異なった民間非営利領域での事業活動が重要となっているが、そこでの管理や会計が十分に確立されているわけではない。企業会計は営利事業の経営成績を測定することを主たる課題としてきたが、このような企業会計の測定とディスクリージャーを土台としながら、非営利事業の特質を反映する会計の構造と特徴、およびそのあり方を、社会福祉法人会計や協同組合会計などを事例として論じる。</p>						
科目名	社会福祉援助技術論Ⅰ	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	(調整中)		
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解する。 ・精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 ・相談援助の概念と範囲について理解する。 ・相談援助の理念について理解する。 ・相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。 ・相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 ・総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する 						
科目名	社会福祉援助技術論Ⅱ	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	(調整中)		
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。 ・相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。 ・相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する（介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画についての理解を含む）。 						
科目名	社会福祉援助技術論Ⅲ	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	(調整中)		
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。 ・相談援助の実際（権利擁護活動を含む）について理解する。 						
科目名	地域福祉論	社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	野口定久		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の基本的考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む）について理解する。 ・地域福祉の主体と対象について理解する。 ・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。 ・地域福祉におけるネットワーク（多職種・多機関との連携を含む）の意義と方法及びその実際について理解する。 ・地域福祉の推進方法（ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む）について理解する。 						

科目名	福祉行財政と福祉計画 社精	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	平野隆之、田嶋香苗		
<ul style="list-style-type: none"> 福祉の行財政の実施体制（国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む）について理解する。 福祉行財政の実際について理解する。 福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。 					
科目名	福祉経営論 社	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	関口和雄		
<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスに係る組織や団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など）について理解する。 福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について理解する。 福祉サービスの経営と管理運営について理解する。 					
科目名	社会保障論 社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	李析		
<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における社会保障制度の課題（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む）について理解する。 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 社会保険制度の体系と概要について理解する。 年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。 諸外国における社会保障制度の概要について理解する。 					
科目名	高齢者に対する支援と介護保険制度 社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	長岩嘉文		
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉、介護需要（高齢者虐待や地域移行、就労の実態を含む）について理解する。 高齢者福祉制度の発展過程について理解する。 介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方について理解する。 終末期ケアの在り方（人間観や倫理を含む）について理解する。 相談援助活動において必要となる介護保険制度や高齢者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。 					
科目名	障害者福祉論 社	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	田中耕一郎		
<ul style="list-style-type: none"> 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む）について理解する。 障害者福祉制度の発展過程について理解する。 相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。 					
科目名	児童福祉論 社	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	加藤俊二		
<ul style="list-style-type: none"> 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要（子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力（D.V）の実態を含む）について理解する。 児童・家庭福祉制度の発展過程について理解する。 児童の権利について理解する。 相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。 					
科目名	公的扶助論 社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	明星智美		
<ul style="list-style-type: none"> 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する。 相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する。 自立支援プログラムの意義とその実際について理解する。 					
科目名	保健医療サービス 社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	牧野忠康		
<ul style="list-style-type: none"> 相談援助活動において必要となる医療保険制度（診療報酬に関する内容を含む）や保健医療サービスについて理解する。 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する。 					
科目名	就労支援サービス 社	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	角谷勝己		
<ul style="list-style-type: none"> 相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解する。 就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解する。 就労支援分野との連携について理解する。 					

科目名	権利擁護と成年後見 社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	鷺野林平		
<ul style="list-style-type: none"> 相談援助活動と法（日本国憲法の基本原理、民法・行政の理解を含む）との関わりについて理解する。 相談援助活動において必要となる成年後見制度（後見人等の役割を含む）について理解する。 成年後見制度の実際について理解する。 社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。 					
科目名	更生保護 社	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	木村隆夫		
<ul style="list-style-type: none"> 相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。 更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活躍する組織、団体及び専門職について理解する。 刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。 					

【専門科目：ヘルスケア・ライフマネジメント分野】

科目名	福祉文化論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	小惊喜一郎		
<p>社会福祉の分野で、文化という言葉の定義は不十分である。しかしながら、文化を生活としてとらえるならば、介護保険法によって医療と福祉が同じ法体系の中に把握されようとしているとき、我が国における福祉文化の今をどう読み解くかの課題は大きい。ここでは歴史学を初めとして民俗学などさまざまな人文科学分野の成果を取り入れながら、社会福祉の分野における文化とは何か考えていく。また、近年施設の生活の中で、利用者と若い職員のコミュニケーションのギャップが生まれてきている。このような現状の中に、福祉文化を介在させることで、両者のギャップの解消を図ることも併せて意図している。</p>					
科目名	死とこころの科学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	竹下隆		
<p>～死生学入門～ 人間は「死」を認識できる唯一の生物である。その認識する「こころ」が人間の「行動」を支配するのだが、長い間、「死」は単に意識の問題とされ、「生」に伴う「行動」を追及することが優先されてきた。そのタブー視されてきた死を、生と並立して同時に扱うことが普及してきたのは、脳と「こころ」の関係や、細胞や遺伝子の研究が大いに進展したことも原因となっている。死んで消滅する個体は単なる遺伝子の乗り物であると言っているのである。しかし最近、死を認識する「こころ」をも、又そこから出て来る「行動」をも支配する「生命」そのものの宇宙的、人間的意味が追求される。ターミナルケアや尊厳死、安楽死、脳死など生と死の関係をギリギリいっぱいのところまで結ぼうという時代になったからである。そこで、従来からの自殺、殺人、戦争などフロイトの未完成な「死の本能」論などにも思考範囲を広げながら、死に関係して作動する「こころ」の作用と行動の原理を、科学的な心理学思考で追求する。</p>					
科目名	生涯学習論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	中川晴夫		
<p>生涯学習は、学習機会としては「生涯にわたる学習」(生涯継続学習)であり、学習目的としては「生涯のための学習」(生涯設計学習)である、という観点を重視する。その場合、生涯継続学習の基調は、人びとが生涯という時間を共有することの重要性、つまり世代共生の意義を教授することであり、生涯設計学習の基調は、人びとが生涯という空間を共有することの重要性、つまり地域共創の意義を教授することである。以上、世代共生と地域共創を中心に生涯学習論を展開する。</p>					
科目名	シルバーファイナンス	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	安宅川佳之		
<p>高齢化社会における家計の収支の動向を明らかにし、高齢化社会の資産蓄積を支える年金・保険・投資信託、資金調達面ではリバース・モーゲジなどのシステムについて講じる。低金利下で自己責任原則による資産運用が個人にも求められており、アクティブな高齢者も増加する方向にある。格付制度や、株式・債券・外国証券を含むポートフォリオの運用基礎理論を、特にリスク・マネージメントに重点を置き、例題学習でマスターさせる。</p>					
科目名	スポーツマネジメント	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	松井健		
<p>本講義では、生涯スポーツ実践に関わる個人のマネジメントや国・地域・社会・企業などが連携して行うスポーツマネジメントについて解説する。前半の講義では、ライフサイクルに応じたスポーツ実践の考え方および具体的方法について触れる。後半の講義では、スポーツを取り巻く社会環境について触れ、スポーツが果たす社会的役割について考察する。</p>					

科目名	福祉情報技術	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	中邑賢龍			
<p>アシスティブテクノロジー（AssistiveTechnology：以下、AT）は、日本では「福祉用具」「支援技術」といわれる分野であり、「障害を持つ人の生活を助けるテクノロジー」を意味する。車いす、自助具、コミュニケーション機器等あらゆる生活場面で利用される福祉用具や住宅・まちづくり等の環境整備は、ATの役割でもあり、最近ではコンピュータを利用した「e-AT（福祉情報技術：以下、e-AT）」も一般化しつつある。この講義では実際の相談導入・利用事例の概説を含め、e-ATの概要を学ぶ。</p>						
科目名	リハビリテーション医学	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	近藤克則			
<p>リハビリテーション（以下リハ）医学には、従来の（疾患を対象とし、治癒を目的とした）医学とは異なり、障害をも対象とし、「全人間的復権」（上田）を目的としているという特徴がある。現場での体験に乏しい学生諸君にも、具体的イメージが湧きやすいよう、総論と各論の両面から、具体的症例や実践例を、ビデオなども用いて紹介する。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害を持ちながらも“人間らしく生きること”を援助するリハ医学の理念を説明できる。 2. リハビリテーションに関わる福祉職と他職種の役割を説明できる。 3. PT・OT・STとは何かを説明できる。 4. 脳卒中のリハを例に、リハビリテーションの流れを説明できる。 						
科目名	障害児心理学	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	近藤直子			
<p>障害のある子どもが示す様々な問題（偏食・こだわり・多動等）にとりくむために、障害児の心理を理解する“手がかり”について学習する。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児の発達を援助するための制度・施策の基礎知識 2. 現在とりくまれている障害児のための主な療育方法に関する知識 3. 障害児の行動を理解するための視点 						
科目名	精神医学	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	岡田和史		
<p>精神医学とは医学の一分野であって脳の高次活動である精神機能を対象とするものであり、具体的には精神障害をとりあつかう。精神障害を持つ患者さんを理解するには、生物学的医学的視点のほかに、心理学的な視点、さらに社会的な視点の3つの次元から総合的に捉える必要がある。まず、基本的な考え方、障害のとらえ方、精神症状についての説明、ついで各病態について、主に統合失調症、気分障害、認知症、神経症の障害、アルコール関連障害、発達障害などを中心に学習する。また、脳の構造と機能、精神医学的診断法、治療学、精神保健福祉対策、などについて学ぶ。</p>						
科目名	精神保健学	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	舩松克代		
<p>精神保健学は生きていく上で重要である精神的健康についての学問である。その範囲は胎児から老年期までと広く、ライフサイクルにおける精神保健上の様々な問題や疾患を理解し、その治療や援助のあり方を総合的に学習する。現代社会の問題を取り上げ、発生する心の問題や予防、早期介入、保健施策の現状など多岐にわたり学習を進めていく。</p> <p>精神障害者施策や発達障害者支援、思春期問題、災害・犯罪被害、児童虐待、自殺対策、認知症対策、他国の精神保健の現状など様々なテーマを通して、精神的健康とは何かについて考えてゆく。</p>						
科目名	精神科リハビリテーション学	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	吉田みゆき		
<p>精神障害のある方々は、病気と障害を併せもっているという特徴があるので、本人が希望する生活を実現するためには、治療とリハビリテーションを同時に進めなければならない。精神保健福祉士は病気のために発生するおそれがある生活上の問題や障害を予防することと、当事者と家族にすでに生じつつある生活上の諸問題の解決をはかり、生活能力の回復と向上を援助していく。したがって精神保健福祉士も精神障害リハビリテーションについて正しい知識をもち、対処の方法を理解する必要がある。本科目では、精神障害リハビリテーションの歴史、障害の理解、リハビリテーションプログラム等を、理論的、具体的に学ぶ。</p>						
科目名	精神保健福祉論	精	単位数	6単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	青木聖久		
<p>「精神保健福祉」の範囲は広い。子どもから大人までのメンタルヘルスの問題から、精神疾患による障害があり福祉的サービスを必要とする人々（精神障害者）の生活支援までを含んでいる。その両方を視野に入れたところに精神科ソーシャルワーカーの役割と実践の課題がある。一方、国家資格化（名称は精神保健福祉士）されたねらいは、日本固有の歴史（精神科における長期入院、福祉施策の遅れ等）が生み出した課題（退院促進と地域生活支援体制の整備）の解決にあったことも事実である。今、国の施策の方向も障害者福祉の統合化に進み始めている。精神障害者の地域生活支援を進めることは、子どもから大人まで、安心して生活できる地域社会をつくることと重なり合うことを、学習の過程でつかめるように期待している。</p>						
科目名	精神保健福祉援助技術総論	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	青木聖久		
<p>精神保健福祉における専門職として精神保健福祉士の果たす役割や精神障害者に対する基本的視点と態度、精神保健福祉活動の意義と目的、理論と歴史を学ぶ。また、精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動の体系と展開について理解し、社会福祉援助活動の考え方や専門的援助技術の基礎を修得する。</p>						

科目名	精神保健福祉援助技術各論 精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	青木聖久		
<p>精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの必要性は精神保健福祉論等からも理解できる。本講義では社会福祉援助実践に必要な社会福祉援助技術・方法について理解を深めるとともに、精神障害者の疾病や障害、障害者を取り巻く家族やその関係者・地域を対象とした場合の特徴を理解した上での実際の援助技術・方法の習得を目指す。</p> <p>個別援助技術、集団援助技術、地域援助技術について理解するとともに、精神障害者やその家族、精神障害者を取り巻く地域を対象とした援助技術・方法について事例検討などをとおして理解する。また精神障害者の地域生活支援の方法として関連するケアマネジメントやネットワーキングについても理解をすすめる。</p>					
科目名	ファイナンシャルプランニング総論 A	単位数	1単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	鈴木克昌		
<p>FP（ファイナンシャルプランニング）とは何か、FPの歴史と現状や社会的役割、手法と知識、諸領域、コンプライアンス等を学ぶ。また、ファイナンシャルプランナーの業務内容や進路、具体的なスキルの身に付け方についても学習する。FPの技術を活かせる業界やそれを取り巻く環境を知ることにより、ファイナンシャルプランナーとしてのキャリアイメージを明確にする。</p>					
科目名	金融資産運用設計 A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	栗本修己		
<p>個人のライフプランを実現するためには、財政上の裏づけとして資金が必要になる。必要な資金は具体的な金融商品で管理・運用する必要が生じるが、そのためには商品を選択するための周辺知識が必須となる。そこで、経済・金融動向の見方、預貯金、金融類似商品、投資信託、債券、株式、デリバティブなどの商品知識とともに、アセットアロケーション、ポートフォリオ、リスク分散の考え方を学び、金融資産の管理運用法を習得する。</p>					
科目名	不動産運用設計 A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	鈴木克昌		
<p>不動産は、生活の本拠として、あるいは資産として、ライフプラン上の重要な位置を占める。この科目では、不動産について、売買、貸借、所有、活用、投資など様々な場面で必要となる広範囲な知識を学習する。具体的には全体を3つの領域に分け、まず不動産の見方と不動産に関わる様々な法律の規定を、次いで不動産に関わる税金の種類と内容、不動産投資・有効活用の手法を学び、生活者が不動産と上手につきあっていくための実用知識を習得する。</p>					
科目名	ライフプランニングと資金計画 A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	佐藤正明		
<p>ファイナンシャルプランニングの中心的な科目である。学習領域は大きくライフプランニングとリタイアメントプランニングに分かれる。前者では、ライフプランニングの考え方、家計のキャッシュフロー分析手法に始まり、ライフプラン上の重要テーマである住宅資金設計、教育資金設計等について学ぶ。後者では、労働保険、医療保険、公的年金という各種の社会保障制度の仕組みを理解し、老後の資金設計の考え方を習得する。</p>					
科目名	リスク管理と保険 A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	安藤朋子		
<p>現代社会におけるリスクには様々なものがある。ファイナンシャルプランニングにおいては、それらのリスクに対して保険という手段を用いてリスクを移転するという保証・補償設計が必要となる。この科目では、その観点から、リスクマネジメントの考え方、保険制度、生命保険と損害保険の仕組み、それぞれの分野の具体的な商品の種類と内容を学び、保険を活用したリスクマネジメントの手法を習得する。</p>					
科目名	タックスプランニング A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	角田圭子		
<p>ファイナンシャルプランニングにとって、可処分所得を把握する上で税の知識は欠かすことができない。初めにわが国の税制を体系的に理解し、中でも個人のライフプランニングに欠かせない所得税を中心に、個人住民税、個人事業税、法人税、法人住民税、法人事業税、消費税等を学ぶ。特に所得税についての知識は重要であるため、その仕組みから、税額計算、申告納付までを体系的に学び、最終的には具体的な税額計算ができるようになるまで理解を深める。</p>					
科目名	相続・事業承継設計 A	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	林裕二		
<p>ライフプランの終着点である死亡時の財産処分と、それに伴う税務上の取り扱いを学習する。相続はすべての人に共通のライフイベントであるが、知識不足からトラブルになることが少なくない。そこで、まず相続人の範囲と相続分、相続を放棄する場合の手続き、遺言の作成方法など、民法の知識を学習する。また、遺産額が一定規模以上になると相続税が課税され、相続税対策が重要なテーマとなるため、相続税の基本的な仕組み、節税対策の考え方をあわせて学習する。</p>					
科目名	ファイナンシャルプラン作成 A	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	安藤朋子		
<p>FP（ファイナンシャルプランニング）実務において「商品」となる提案書（プラン）について、その意義と位置付けを理解し、ライフイベント表・キャッシュフロー表・バランスシートの作成、保険の見直しや資産運用の提案といった提案書の内容と作成手順を学習する。最終的には、与えられた課題に基づき、実際に提案書を作成し、提案書作成技術の習得を目指す。</p> <p>※別途、設定する期間において「提案書」の提出による実技試験を行います。</p>					

(2) スクーリング科目

スクーリング科目一覧は (P.94) を参照してください。

【基礎科目】

科目名	福祉経営序論	必	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	雨森孝悦		
通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを明らかにし、福祉経営を学ぶうえでの課題や方法について論ずる。講義を通じ、福祉経営学習の全体の見取図を与え、知識の追求、問題解決の探求等々に向けての学習意欲を喚起する。						
科目名	スタートアップセッション	必	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	元岡征志、大野喜朗、菱沼和香奈		
通信教育部における学習のスタートとして、開講されている科目形態に応じた学習方法を理解する。また単位修得までの一連の流れとして、テキストの読み方、添削課題、科目修了試験への取り組み方について講義する。さらに、通信教育部を卒業・修了するまでを念頭においた学習計画を立てる。なお、本科目は必修科目であるとともに、学習方法や学習計画に関する内容のため他の科目の学習に先立って受講することが望ましい。 ※正科生・特修生のみ履修可能						
科目名	フォローアップセッション		単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	竹下正哲、松林愛		
～効果的な学習方法を知ろう～ 学習を進めるうえで、「わからないこと」や「不安に感じていること」などを解決することがこの科目の主な目的である。講義内容は、以下の3つである。 ①通信教育のシステムや学習方法を知る。 ②精神的な不安を取り除き、本来の実力を呼び覚ます。 ③学びを仕事や生活に活かす方法を体験談から学ぶ。 ※正科生・特修生のみ履修可能						
科目名	障害者スポーツ研究		単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	荒賀博志		
国内外の障害者スポーツに関する情報収集および障害者のスポーツの普及・振興を図るために、障害者スポーツの現状と課題を認識する。日本障害者スポーツ協会の基準プログラムに則した実技・演習を中心に実施する。 ※正科生のみ履修可能						

必：必修科目です。オンデマンド科目、スクーリング科目のいずれかを履修してください。

【専門科目：ビジネスマネジメント分野】

科目名	変わり行く企業社会Ⅰ		単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	竹下隆		
～福祉事業の経営とは何か～ 福祉をも採算で考える企業社会の到来は、何もかも経営戦略の達成で事業目的を成立させようとする時代を作り上げた。ここで改めて、従来からの企業経営とは何かを問い直し、経営意識の変動期に対応する心構えと、福祉経営の現実を掴み取っていただく。						
科目名	変わり行く企業社会Ⅱ		単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	竹下隆		
～福祉経営の安全とは何か～ 現代企業社会の進展は＜最大多数の最大幸福＞を目標に、＜規模の経済性＞を実現させてきたように見えるが、反面には大規模な危険を抱えることになり、企業的にも社会的にも安全確保にはたびたび失敗してきた。その課題解決に向かっていく危機管理学、安全学、失敗学などが目指す経営の安全力学を解説しながら、福祉経営の安全を掴み取っていただく。						
科目名	公共政策と経営		単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	安宅川佳之		
身近でホットな政策問題について学び、事業経営に強い影響を与える公共政策に主体的に取り組むマインドを養成する。特に、高齢社会における社会保障政策の動向について学び、医療福祉を含むビジネスマネジメントの学習に取り組むための方向づけを行う。経営面では具体的に経営問題に当たっているスペシャリストによる講義を行う。						
科目名	ヘルスケア産業論		単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
			担当教員	安宅川佳之		
ヘルスケア産業の中軸となる医療・介護関連業界の動向について学ぶ。まず、①医療福祉関連業務の問題点と解決策についてグループ・ディスカッションを行う。②ヘルスケア産業にとって収入動向を決定する社会保険制度の仕組みと、現在の財政状況について理解し、③関連諸企業（主として上場企業）の経営状況を学ぶことから、ヘルスケア産業に市場サイドから光を当て、業界の実態と今後の動向について学ぶ。						

科目名	日本企業の経営・会計	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	新谷司		
株式会社の決算書の読み方について学ぶ。その上で日本を代表する大企業における経営と労働の現状と課題について複数の事例を通じて理解する。					

【専門科目：コミュニティマネジメント・国際協力分野】

科目名	地域再生	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	原田正隆		
日本では、中心市街地の空洞化、コミュニティの崩壊や中山間地域の衰退などにより、地域再生や地域づくりが大きな課題となっている。ここでは、こうした問題の背景や性質について学び、豊かな地域を自分たちの手でつくるにはどうしたらよいかということについて考える。					
科目名	国際開発と貧困問題	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	神田浩史		
グローバル化が進展する一方で、世界には依然として貧困削減が大きな問題として横たわっている。この科目では、発展途上国における貧困の性質や貧困を減らしていくためのアプローチについて、ワークショップもまじえて具体的に検討するとともに、私たちの生活との関連について見ていく。					

【専門科目：医療・福祉マネジメント分野】

科目名	福祉の歴史	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	小椋喜一郎		
本講は、古代から近代までの社会福祉の歴史を通観する。社会福祉の歴史といえば、市販の多くのテキストは、明治以降から、記述される傾向がある。確かに権利としての社会福祉が確立されていない前近代は、社会福祉という言葉の持つ意味も異なってきた。しかし、明治以前の近代の相互扶助や様々な救済制度が、現代の社会福祉と全く無関係ということもない。福祉とは、福も祉も「しあわせ」という意味がある。現代に生きる我々が、前近代に生きた人々から学ぶことは無数に存在する。例えば、江戸時代の視覚障害の人々はどのように生きてきたのであろうか。盲僧と呼ばれる人々が何故に存在したのであろうか。また、当道座制度は、視覚障害の人々にとってどんな救済となったのであろうか。さらに、こうした制度や救済から漏れてしまった人々はどのように生きてきたのであろうか。格差社会と呼ばれセーフティネットの存在が危ういといわれる現代、我々は歴史から何を学ぶことができるのかを追求していく。なお、最近の受講生のなかには歴史的な用語がわからないために、講義内容がよく理解できない人もいいる。歴史の基礎的理解があるか、それがなければ事前に高校の日本史の教科書を通読して受講されることを望む。					
科目名	社会福祉政策国際比較	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
～スウェーデンと日本の生活安全保障制度～ 経済や政治の国際化ならびに高齢化・少子化の本格化にともなって、先進諸国は経済政策、社会政策、環境政策の統合など一連の改革あるいは再編成を余儀なくされている。現代社会の変容に伴って人びとが遭遇する社会的事故は多様化し、日本の社会保障制度は生活安全保障という根幹的な機能を十分果たせなくなってきている。何故なのか？福祉国家スウェーデンの生活安全保障制度を基軸として、日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を批判的に考察する。ひいては、福祉国家とは何かその条件を明らかにし、福祉ミックス社会との類似性・差異を明確にする。					
科目名	社会福祉と権利擁護	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	矢野和雄		
権利擁護の意義についてはすでに広く認識されているところであるが、重要なことは、これをいかに社会福祉の現場で実践するかということである。本講義では具体的な法律・制度の枠組みを学びつつ実践的な権利擁護の行動規範のあり方の一例を検討する。					
科目名	医療・福祉の経営・会計	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	新谷司		
医療事業または福祉事業の決算書の読み方について学ぶ。その上で医療事業または福祉事業を行う法人の経営の現状と課題について複数の事例を通じて理解する。					
科目名	医療福祉システムの理論と実践	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李忻		
少子高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の進歩、人々の価値観及び生活スタイルの多様化などによって、人々を取り巻く医療福祉環境は目まぐるしく変化している。医療福祉システムをはじめ、日本の社会保障システム全体においては、日本経済の復興と共に発展し、医療福祉サービスを受けられる対象者の範囲が拡大し、サービスの量も多くなってきたが、今日は社会人口構成及び社会経済の変化によって、賦課方式をベースとする社会保障制度の維持は困難に直面している。さらに、医療福祉サービスの提供においては利用者本位のサービス提供が求められていると同時に、福祉サービスは措置制度から契約へと変わり、利用者にも応益負担を求める傾向がある。この講義では、昨今の医療福祉制度の仕組みや制度の創設の背景、制度の恩恵を受ける対象者、医療福祉サービスの提供者、医療福祉システムを支える財源などの視点から、医療福祉システムについて学習する。医療福祉分野の第一線で活躍している研究者や現場の専門家を招いたゲスト講義や分科会も行う予定である。					

科目名	医療福祉制度と暮らし	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李忻		
<p>人は予期せずして病気にかかり、患者となって医療の需要が発生する。また、加齢或いは障がいや疾病により、自力で生活が出来なくなるリスクも伴うのである。このように人の一生において、様々な医療サービス、福祉サービス、介護サービスを必要とする。これらの医療サービス、福祉サービス、介護サービスはどのような仕組みのもとで提供されているのか、これらのサービスの費用はどのように負担されているのか、どのように負担されるべきなのかについてデータや資料分析を通じて考える。さらに、これらのサービスの提供における法令順守の重要性や利用者の権利擁護、医療と福祉の連携及び昨今の医療福祉にかかわる社会問題についても議論を行う。</p>					
科目名	地域医療と福祉の統合	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>少子高齢社会日本が現在直面する問題は、医療・介護ニーズの上昇し始める後期高齢者や認知症高齢者が確実に増加することである。また、障害者ケアにおいても障害者自立支援法により脱施設化が始まり、地域で生活を営む障害者が増えている。これらの人たちの自己決定による生活形成と完全な社会参加は医療と福祉の統合なしには不可能である。行政の縦割りのみならず、多様なサービス生産供給システムを特徴とする日本福祉ミックス社会の課題は多々であり、複雑である。20年一足先に高齢者・障害者ケアにおける脱施設化を図り、専門医療との連携による24時間の初期医療サービス供給を実現してきたスウェーデンの経験を基軸として、地域における医療と福祉の統合の課題と戦略を考察する。</p>					
科目名	高齢者福祉分野の経営戦略	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	栗原徹		
<p>1、医療・福祉分野における経営環境は、関連法の改正に伴う収益性の悪化、競争の激化等々著しく厳しさを増しつつある。この難局を乗り切ったものだけが生き残り他は市場から退出しなければならない。〈総論…経営戦略論〉 2、本講座は机上理論ではなく企業経営、福祉施設経営の実務家による実践的経営戦略の構築と実践を本講座のポイントとしている。〈各論…具体的な経営戦略の構築〉 3、また、同時に現在特に必要とされている福祉関連企業の経営幹部の養成もあわせてポイントとしている。〈実践論…具体的なケースにもとづく実践論〉</p>					

【専門科目：ヘルスケア・ライフマネジメント分野】

科目名	精神障害者と福祉実践Ⅰ	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		
<p>現代社会において、精神障害を有する、ということは決して一部の人の問題ではない。そして、例えば自分が精神障害者、あるいはその家族になったとしても胸を張って暮らせる社会、が真のノーマライゼーション社会ともいえる。このようなごく当たり前の社会のあり方を目指し、実践するのが精神保健福祉士（PSW）である。この科目では、精神障害者が暮らす社会の現状及びPSWが実践する中身について紹介することを通して「自分たちができること」について一緒に考えていきたいと思う。なお、PSW資格について検討している方、及び既に目指している方は必ず受講してもらいたい。 ※この科目を受講する方は、以下の文献を前もって読んでおいてほしい。 『精神保健福祉士（PSW）の魅力と可能性』やどかり出版</p>					
科目名	精神障害者と福祉実践Ⅱ	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		
<p>この科目は「精神障害者と福祉実践Ⅰ」の発展科目である。したがって、①精神障害者理解、②精神保健福祉士（PSW）をはじめとする福祉実践、についての基本的理解を前提として授業をすすめる。そして、受講している皆さんが「社会経験を活かすことにより、社会で皆さん自身が生かされること」について考えていきたい。具体的には、皆さんが「明日、PSWになったら」ということを想定して、様々な角度から、多様な方法（感性溢れる方からの話等）を用いて精神障害者支援について深めていきたい。この授業を通して、「PSWの専門性について理解が深められた」「PSWの可能性を感じた」「人間が本来大切にすべきことについて、福祉実践を通して認識することができた」ということ等を目指したい。 なお、PSW資格取得をする方には、ぜひとも受講してもらいたい科目である。 ※この科目を受講する方は、以下の条件を満たしていることが望ましい。 ・「精神障害者と福祉実践Ⅰ」を履修済（予定を含む）であること。 ・以下の文献を前もって読んでおくこと。 『社会人のための精神保健福祉士（PSW）』学文社</p>					
科目名	障害者政策と自立支援	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>～スウェーデンと日本の類似性と差～ 2006年4月から、就労および地域生活を進め自立を支援するという障害者自立支援法が施行された。他の先進諸国より一足先に、すべてのケア分野における脱施設化を遂行し、障害者の経済的・社会的自立を図ったのが福祉国家スウェーデンである。スウェーデンの経験が示すのは、脱施設化とは単に施設を全廃し、雇用を割り当て、グループ住宅を建てれば障害者の自立した地域生活が実現するものではないことである。教育、就労、家族、余暇などの生活全分野における自立を実現するには、何が必要とされるのか？スウェーデンの普遍的な社会政策と連動した障害者政策の経験を学び、自立支援法を批判的に考察する。</p>					

科目名	年金と資産運用	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	安宅川佳之		
<p>超高齢化時代を迎えて、高齢期のための経済準備が益々重要となっているが、高齢期の生活保障の柱となる年金制度の現状と将来展望について学び、高齢者の生活保障に関する問題について、グループ・ディスカッションを行う。さらに、自助努力による老後資金準備について、①ライフプランの作成方法、②資産運用方針の決定方法などについて学ぶ。</p>					
科目名	高齢者の財産管理	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	鈴木克昌		
<p>高齢者福祉において、自己決定の尊重は重要な課題となる。ライフプランは自己決定の表現である。ライフプランを実現するためには、もちろん財政上の裏付けが必要であるが、判断能力が不十分となった人は、いくら財産があっても活用できないことも多い。現に福祉の現場では、本人のために必要な場合であっても、権限がないため適切な対応ができないという問題も発生している。本科目では、真に自己決定を実現するためのライフプランニングと財産管理のあり方について、成年後見制度や信託の活用を含めて考察し、併せて自己決定に基づく財産の承継方法にも言及する。</p>					
科目名	超高齢化社会の老後リスク管理	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	鈴木克昌		
<p>～とりわけその財政的基盤強化に向けて～ わが国は既に超高齢化社会に突入しているが、その動きは歴史上例を見ないものである。即ち、その到達するであろう高齢化率の高さと、スピードの速さである。加齢の学問として、施者側の論理としてジェロントロジーが注目を浴び始めているが、本科目では、逆に当事者の側にたった老後人生のマネジメントの方法を学ぶことを目的とする(AgedLifeManagement)。特に、健康で生きがいのある老後の大前提である、財政リスクに備える対策を手中に据えて論を展開する。</p>					
科目名	福祉とテクノロジー活用	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	山田栄子		
<p>～福祉分野におけるテクノロジー活用～ 障がいのある人や高齢者の自立した生活を助ける電子情報支援技術(e-AT)とコミュニケーション支援技術(AAC)について、実践・事例を交えつつ、基礎的な内容からやや専門的なところまでを解説する。その上で、生活を豊かにするという視点で福祉分野におけるテクノロジー活用のあり方について考えていく。</p>					
科目名	痛みとりハビリテーション	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	松原貴子		
<p>痛みは老若男女を問わず、多くの疾患に伴う症状である。痛みとは体に生じた損傷等を知らせる警告信号であり、その警告が生態防御系を賦活する。このような急性痛は生体にとって必要不可欠な感覚である。一方、損傷が明らかでないにもかかわらず痛みが続く慢性痛は警告信号の意味をなさず、無用の産物であるが、未だ完全な治療法の確立にいたっていない。近年、慢性痛に対するリハビリテーションの有効性が世界的に注目され始めている。本講義では痛みの病態からリハビリテーション等の対処法まで、最新トピックスを含めて説明する。</p>					

(3) 資格科目

科目名	相談援助演習Ⅰ	社	単位数	2単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	3年	担当教員	小椋喜一郎、加藤俊二、明星智美 岡部真智子、杉本浩章
<ul style="list-style-type: none"> ・既習の科目学習で学んできた知識と関連して学習し、相談援助実践の知識・技術・価値を理解する。 ・援助専門職をめざす自己について洞察し、自己覚知を深める。 ・実践の場にふさわしいコミュニケーション技術を習得する。 ・相談援助における基礎的な面接技術を体得する。 ・学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。 						
科目名	相談援助演習Ⅱ	社	単位数	4単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	3年	担当教員	小椋喜一郎、加藤俊二、明星智美 岡部真智子、杉本浩章
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の知識と技術を実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。 ・相談援助のプロセスとそこで求められる知識の活用や技術、専門職としての倫理や態度を表現する力の涵養。 ・総合的かつ包括的な援助や地域福祉の基盤整備と開発、社会資源の活用・調整・開発の技術を実践的に学び、地域で働く社会福祉士の役割を理解する。 						
科目名	相談援助演習Ⅲ	社	単位数	4単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> ・援助活動におけるさまざまな課題に対する総合的かつ包括的な援助について実践的に習得する。 ・人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できる態度を身につける。 ・実習等における個々の実践を一般化し、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。 ・実習事例を活用し、地域の社会資源の実際や医療・福祉・マネジメントの実際を学び、地域におけるネットワーク形成の方法・技術を体得する。 						
科目名	相談援助実習指導Ⅰ	社	単位数	3単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	3年	担当教員	小椋喜一郎、加藤俊二、明星智美 岡部真智子、杉本浩章
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習と相談援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義を理解する。 ・相談援助実習に必要な倫理や態度、相談援助に関する知識と技術を理解する。 ・実習先に関する基本的な理解(施設・事業者・地域社会等に関する理解)を進め、実習先で行なわれる相談援助業務や関連業務を理解する。 						
科目名	相談援助実習指導Ⅱ	社	単位数	3単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習を通じて、大学で学んだ知識、援助技術等を具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。 ・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ・相談援助専門職としての自覚を促し、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を身につける。 						
科目名	相談援助実習	社	単位数	4単位	科目形態	実習科目
			学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習を通して、社会福祉士に必要な相談援助に関する「専門知識」「専門援助技術」及び「関連知識」の内容の理解を深める。 ・「専門知識」「専門援助技術」及び「関連知識」を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を体得する。 ・職業倫理や自己の課題を把握する力を身につけ、相談援助専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。 ・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し、体系立てていくことができる能力を涵養する。 ・関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解し、医療・福祉・マネジメントを担いうる能力・技術を体得する。 						
科目名	精神保健福祉援助演習 ^精	精	単位数	2単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目
			学年配当	4年	担当教員	青木聖久、杉本浩章
<p>個々人にとっての「疾患」「障害」とそこから生じる「生活課題」「生活問題」に対する精神保健福祉士の視点と援助技術について学習する。事例や実習で体験した場面などを通して、精神保健福祉士に求められる役割は何か、適切に応えられるための援助技術や知識とは何かなどの討議を深める。学生にとって視点と援助技術への関心と、さらに、自己への客観視及び主体的に行動する力、何よりも、精神障害者を深く理解する力を養える場としたい。</p>						
科目名	精神保健福祉援助実習 ^精	精	単位数	6単位	科目形態	実習・スクーリング併修科目
			学年配当	4年	担当教員	青木聖久、杉本浩章
<p>現場実習を軸に、精神障害者の医療と生活にかかわる諸施設・諸機関(医療機関、社会復帰施設、行政機関など)の実情とそれらを利用している当事者・家族への理解を深める。彼らの「疾患」「障害」の実態とそこから生じる「生活課題」「生活問題」を把握し、当事者ととともにその改善・解決に向かう精神保健福祉士の幅広い実践を学ぶ。さらに、実習クラスのなかで討議を深め、精神保健福祉領域における社会福祉実践とは何か、視点・技術・知識とは何かを問い直し、問題意識を育てあえる場としたい。</p>						